



独立行政法人 国立病院機構 小倉医療センター

基本理念 「この病院があるから、この街に住みたいと思われるような病院を目指します。」

小倉医療センターは、明治以来の古い歴史を持ち、前身の小倉衛戍病院の時代には、小倉に赴任した文豪森鷗外も軍医部長として度々診療に訪れた伝統のある病院です。地域医療を担う病院として責務を果たすとともに、がん、精神疾患、産科と小児科の成育医療、肝疾患、内分泌代謝疾患（糖尿病、肥満、甲状腺、脳下垂体、副腎など）、骨・運動器のなどの国の政策医療も担っています。

- 【施設概要】 2023. 7. 1(データは 2022 年度実績)
1. 所在地 〒802-8533 福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号
 2. 特徴 地域医療支援病院・地域周産期母子医療センター等
 3. 標榜診療科 21 診療科
内科、心療内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、小児外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科、病理診断科
病床数 400 床（一般:350 床 精神:50 床） 8 病棟
 4. 薬剤師数 (定数:15 名) 薬剤部長、副薬剤部長、主任 5 名、薬剤師 8 名、助手 3 名
 5. 主な業務
(ア)調剤 入院 52,749 枚/年、外来 42,861 枚/年 (院外処方率 88.9%)
(イ)注射 入院 56,947 枚/年、外来 10,173 枚/年
(ウ)薬剤管理指導件数 合計 4,855 件 (404.6 件/月)
3,192 件/年 (266.0 件/月)
1,663 件/年 (138.6 件/月)・・・ハイリスク薬管理
(エ)無菌製剤処理料 I:1,762 件/年 (うち閉鎖式使用 71 件/年)
(オ)外来化学療法加算 172 件/年
(カ)病棟薬剤業務 実施加算 1:11,531 件/年 (961.0 件/月) 実施病棟数 5 病棟
包括病棟(非算定)1 病棟
(キ)チーム活動 ICT (感染対策向上加算 1)・AST・NST・精神科リエゾン
緩和ケアチーム・糖尿病療養指導チーム
 6. 特徴的な業務
 - ・ RedMan (TOSH0) を用いた抗がん剤レジメン監査システムと調製
 - ・ がん化学療法患者に対する B 型肝炎再活性化のモニタリング
 - ・ 大建中湯坐剤をはじめとした院内製剤調製
 7. 2023 年度の取り組み
 - ・ 臨床薬剤師として患者への積極的な介入
 - ・ 若手薬剤師への教育
 - ・ 職場環境を整える
 - ・ 他職種へのタイムリーな情報提供

8. システム・設備

項目	有・無
電子カルテ	○
自動錠剤分包機	○
散剤監査システム	○
水剤監査システム	○
散剤分包機	○
安全キャビネット	○
クリーンベンチ	○

9. (1) 病院目標（基本理念）

この街には、この病院があるから住みたいと思われるような病院を目指します

- 一）人間性あふれる病院を創ります
- 一）専門性・独創性を追求し、高度・良質な医療を提供します
- 一）地域社会と密接な連携を通して、地域社会に貢献します
- 一）効率性、経済性等を踏まえた病院運営を目指します

<2023 年度病院目標>

- ① 公的病院としての責務を認識し、地域医療に貢献する
- ② 院内の取り決め順守を徹底する
- ③ 全職員が働きやすい職場環境を目指す
- ④ 医業収支、経常収支の黒字化を実現する

(2) 薬剤部目標

- ① ワクチン調製をはじめ、公的病院として地域医療（連携）に取り組む
- ② 部内の取り決めや他部門との連携等には注意する
- ③ 部内会議等を通し、業務の改善（効率化）に努める
- ④ 収支に影響する業務を意識して取り組む